

(別紙様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和元年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 三豊市立詫間中学校
(2) 所在地 香川県三豊市詫間町詫間 5796 番地 1
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (平成31年4月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	特別支援学級	児童生徒数計	教員
4学級 100名	3学級 93名	3学級 90名	2学級 4名	287名	28名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 豊かな心を育て、ともに未来を切り拓く道徳教育
—一人間としての生き方を考える道徳科の授業の工夫—

(2) 研究主題設定の理由

道徳の教科化が実施される本年度、本校で四国小・中学校道徳教育研究大会が開催される。本校においては、平成28年度に「道徳プロジェクトチーム」を発足させ、平成29年度から「3つの道徳チーム」を編制し、全教員が学年の枠を超えていずれかのチームに所属し、学校全体で道徳教育を推進する体制を充実させてきた。その結果、道徳の時間の確保や校内指導体制が整い、道徳教育に対する教師の意識も高まってきた。

そこで、これまでの研究の成果を継続・進化させるために、道徳科の授業の質の向上を図ることとした。具体的には、道徳的価値について自分自身との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるように工夫し、生徒が人間としての生き方を考えることができる学習指導の在り方について研究を進めている。

(3) 研究内容及び方法

校内の「道徳プロジェクトチーム」及び「3つの道徳チーム」（教材開発チーム、道徳啓発チーム、朝の道徳チーム）を中心として、学校全体で以下の研究を推進する。

- ① 道徳プロジェクトの会
- ② 全教員で取り組む道徳科の授業研究（校内研修・アンケートの実施）
- ③ 学校全体で行う「朝の道徳」（イ～なの日）の改善・充実
- ④ 道徳通信「こころの玉手箱」や校内掲示による家庭啓発や環境整備の充実
- ⑤ 一人一人のよさを伸ばし、成長を促す評価の工夫

3 成果の評価方法（検証方法）

- ワークシートや道徳ファイル、生活記録等に書かれている生徒の考えや感想の変容を見る。
- 「道徳性検査」や「道徳の時間に関する質問調査」等を実施し、その結果を分析する。
- 毎学期末の学校評価（職員、生徒、保護者）の結果を参考にする。

4 研究成果の普及方法

- 道徳通信やPTA新聞、各種通信等を活用し、保護者や地域に発信する。
- 校内研究授業（道徳科）の積極的な公開に努める。